

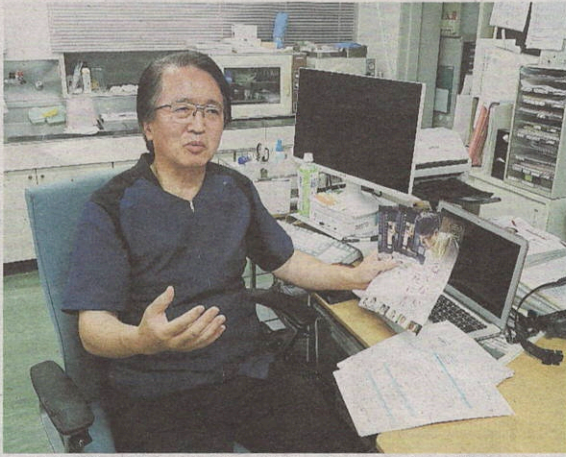
東座「痛くない死に方」上映に合わせ

在宅医療の現場など

23日 松本の外科医院長・杉山さん講演

塩尻市の映画館「東座」(大門四番町)は23日、在宅医療に取り組む松本市の杉山外科医院(島立)院長・杉山敦さん(68)の講演会を開く。在宅医療の医師・長尾和宏さん(兵庫県尼崎市)の同名の著書を映画化した「痛くない死に方」を上映する(17・23日)のに合わせ、最期まで自分らしく生きるために大切なことを説く。

塩尻



「在宅医療とリビングウイルについて知ってほしい」と話す杉山さん

(井出順子)

杉山さんは医院での診療のほか、「訪問診療は、かかりつけ医機能の延長」として週1回、患者数十人を往診し、1年間に十数人を見とっている。松本市医師会と市域包括ケア協議会が作成した「わたしのリビングウイル」(事前指示書)にも携わり、自分が望む延命治療を、生前に信頼する人と話し合う

「人生会議」の普及にも尽力している。

講演では在宅医療の現場でのエピソードや、リビングウイルの大切さ、地域包括ケアなどについて話す。その時に備え、どうしたらよいかを考えるきっかけになれば」と杉山さん。

映画「痛くない死に方」は、長尾さんのベストセラーをモチーフにした、医師と患者と家族の物語。俳優の柄本佑さんが主人公の医師を、末期の肺がん患者を宇崎童童さんが演じている。

円、障がい者(手帳提示) 1100円。参加

は予約が必要。東座 ☎ 52・0515

信州大医学部地域医療推進学教室(松本市)などは25日、ジュニア世代のスポーツ選手の育成・支援を考えるセミナーをオンラインで開く。

ジュニアアスリート育成・支援

信州大医学部 25日オンラインセミナー

元五輪代表で自転車ロードレースの宮沢崇史さん(44、長野市出身)と、女子スピードスケートの三宮恵利子さん(48)が選手の育成について(午後1時〜2時15分)、信大病院が小児科に開設している「ジュニアアスリート外来」の医師らが、医療的な支援について(2時20分〜4時)それぞれ話す。

ウェブ会議システムのZoom(ズーム)で聴講する。無料。参加申し込みは21日午後3時までにウェブサイトでQRコードから。問い合わせは同教室 ☎ 37・2548 (平日午前9時〜午後4時)

